

ハイ それまでよ

「ハイ それまでよ」という歌があった 歌 隣は

はつきり想い出せぬのが 人なりの山すまじ

という事がたまたまある 研究 趣味 他業

人間関係とさうだ 研究 味はほろろいも

アカもしく山すまじ 人間関係はむづかしい

特に人間関係は油断があると失敗する

かつて仲がよかつた工さん 本当に与人

だし何を言つてもどんな事かあつても 伊よしだった

~~それだ~~ 私も負けず彼女のことも考えて

行崩した それがゴツとまけてしまつた

私が腰痛が病中なくなつた時と有り和牛で

おにまてく山すまじを やいて左でさせられた

ボイカカルトイシを 買ひに行つてくれた

たのみにたのみに今日どうして いるかあおかり

ない

原因はお金だ そのころ下巻のところが

物をたてかえて 答つてくれた それは

彼女の成績上がった ちろん ちろん 不金

を支 拵つた だが 請お 買 替 君が 来た 送りだ

拵

送り状の詳細を送った。でも預お^書か又また

私はお金を送った。それに対するお金は有り

子子た。今春云々とセーハアぐうの二とた

でも二章^{柳井}の五と私のおもてしようの有りた

それからもう十七八年立つ

よくゆう友は二度と得うわ有白。しあこそわ

はそれではおかつ左と思う。今鉄向と川の酒

きろんとして、有いと、それをおいかにたして

あり

その彼相手に、つくとおき有りニとそわ加

と思つ同いニと、一、一、一、一、一

それは、つと私のくせだ。いたり思ひを、

でもくせは有り、そうも有り